【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公表番号】特表2010-523054(P2010-523054A)
【公表日】平成22年7月8日(2010.7.8)
【年通号数】公開・登録公報2010-027
【出願番号】特願2010-501030(P2010-501030)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/32　(2006.01)
Ｈ０３Ｍ　7/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/137　Ｚ
Ｈ０３Ｍ　7/30　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月26日(2011.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビデオ・システムであって、
スケーラブル・ビデオ情報を処理するためのビデオ符号化デバイスであって、複数のビデオ・ブロックを提供し、前記複数のビデオ・ブロックの各々は、コンポーネント値の複数のラインを有する、前記ビデオ符号化デバイスと、
前記ビデオ符号化デバイスに結合され、前記ビデオ・ブロック対間の中間エッジに沿って前記スケーラブル・ビデオ情報の拡張層のビデオ・ブロックをフィルタリングするデブロッキング・フィルタであって、
中間エッジのどちらか一方の側部に並べられた前記ビデオ・ブロックの隣接する対の境界強度が第１の値であるか否かを判定する境界強度回路と、
制御回路であって、前記境界強度が前記第１の値である場合に、第１の複数の条件の評価を回避し、かつ前記中間エッジに沿った前記隣接するビデオ・ブロック対間のデブロック・フィルタリングを回避し、前記境界強度が前記第１の値でない場合に、前記隣接するビデオ・ブロック対の複数のラインのうちの第１のラインのコンポーネント値を用いて前記第１の複数の条件を評価し、前記境界強度が前記第１の値である場合か、または前記第１のラインの前記コンポーネント値を用いて前記第１の複数の条件のいずれかが偽である場合に、前記中間エッジに沿った前記隣接するビデオ・ブロック対間のデブロック・フィルタリングを回避する制御回路と
を含む、前記デブロッキング・フィルタと
を備えるビデオ・システム。
【請求項２】
前記制御回路は、前記第１の複数の条件を評価する場合に、アルファ・オフセットをアルファ値から差し引いて、調整されたアルファ値を提供し、ベータ・オフセットをベータ値から差し引いて、調整されたベータ値を提供し、前記調整されたアルファ値を第１のコンポーネント差と比較し、前記調整されたベータ値を第２のコンポーネント差と比較する、請求項１に記載のビデオ・システム。
【請求項３】

前記制御回路は、前記中間エッジが水平方向エッジを含む場合に、前記中間エッジに沿って第２の複数の条件を評価することを回避し、かつ前記第２の複数の条件に関連するコンポーネント値のデブロック・フィルタリングを回避する、請求項１または２に記載のビデオ・システム。

【請求項４】

前記デブロッキング・フィルタに結合され、前記スケーラブル・ビデオ情報を記憶するメモリをさらに備え、

前記制御回路はさらに、前記中間エッジが水平方向エッジを含む場合に、前記第２の複数の条件に対して用いられるコンポーネント値を前記メモリから読み出すことを回避する、請求項３に記載のビデオ・システム。

【請求項５】

前記境界強度回路が、境界強度が前記第１の値と第２の値とを含む２つの値の一方のみであると判定することを含む単純化された境界強度決定を行なう、請求項１または４に記載のビデオ・システム。

【請求項６】

前記制御回路は、条件の決定と、最大の境界強度に関連するデブロック・フィルタリングであって、最大の境界強度はさらにベース層に関連するデブロック・フィルタリングとを回避する、請求項１または５に記載のビデオ・システム。